

幕張メッセで開催される「国際武器見本市」への協力中止を求める要請書

千葉県知事 熊谷俊人様

2年目に入ったウクライナ戦争、半年を超えたガザ戦争が目の前で繰り広げられています。国際的に売り買いされ、また援助として戦争当事国に引き渡される大量の武器が、おびただしい人命をこの瞬間にも奪い続けています。

そうした中で、再び千葉県内で国際武器見本市が開催されようとしています。こうした催しこそが、ウクライナやガザで起きている悲劇にいっそうの拍車をかけるだけでなく、さらにまた別の戦争を引き起こす土壌のひとつとなっています。米国や NATO 諸国などの武器がウクライナやイスラエルに大量に流れ込み、パレスチナでは子どもや女性が大量殺戮される大きな背景となっていることを今や知らない者はいません。ガザで多くの病院が爆撃され、国際援助団体がミサイル攻撃を受けた時に使われたのも、イスラエルの内外で生産された高性能兵器でした。それらの兵器輸出国では具体的な企業名が名指しされ、工場の門前で市民が「死の商人は許さない」と声を上げる事態となっています。

また売買される武器は、それを売り込まれる国の負債を膨れ上がらせ、武器輸出大国への従属を深め、人々が食べ物や薬を買うことを困難にし、その国を将来にわたって苦しめる原因になろうとしています。

そのような中、千葉県の幕張メッセでは、来年の国際武器見本市に向けてすでに動きが始まっており、DSET ジャパンの主催者が会場の仮予約を申し込み、会場側が受け付けてしまいました。このままでは、再び会場貸し出しが承認されかねません。

県は2024年3月県議会での議員質問に対して、DSEI ジャパンへの会場貸し出しは幕張メッセの設置目的に合致しているから問題はないと答弁しました。その理屈は、幕張メッセの設置目的は「本県の産業の振興および文化の発展、国際化に資するため」と規定されている、国際武器見本市は「防衛セキュリティ産業にかかる展示会であって、産業等の振興等に資するものである」、だからDSEI ジャパンの「施設の利用について不承認とすべきものではない」という三段論法でした。

しかしここでは、誰が見ても明らかな、ふたつの大きな問題があります。第一に、会場の貸し出しが地方自治法の「福祉目的」に叶っているかどうかをまったく検討されていません。これをまと

もに検討すれば、貸出しはあり得ない話になってしまうことが分かっているからです。第二に、武器見本市に幕張メッセを貸し出すことが「本県の産業の振興に資する」かどうかも証明されていません。そんな証明はそもそも不可能なことなのです。

以上のように、県の主張はあまりにも無責任でかつ破綻していると言わざるを得ません。それだけでなく、平和を求める県民の思いにも真っ向から反しています。もちろん日本国憲法や千葉県が定めた「平和都市宣言」の趣旨とも真逆のものであることは論をまちません。

よって私たちは県当局に以下のことを求めます。

記

1. 武器見本市「DSEI JAPAN」に対し、公共施設である幕張メッセの貸し出しを許可しないでください。
2. DSEI ジャパンに県有施設を貸し出すことがどのような意味で「福祉目的」に叶っているのかを説明して下さい。
3. 「防衛産業にかかる展示会」に県有施設を貸し出すことがいかにして「千葉県の産業の振興」に貢献することになるのかを説明して下さい。
4. 千葉県議会の「非核平和千葉宣言」や県内各市町村の「非核平和都市宣言」に則った平和施策を、教育の場をはじめ県政の各分野で積極的に推進して下さい。

以上

2024年5月13日

市民ネットワーク千葉県
千葉県議会議員 川口 絵未
i 女性会議千葉県本部
代表 加藤 マリ子
新社会党千葉県本部
委員長 宮川 敏一
社会民主党千葉県連合
代表 工藤 すず子

<資料>

① 地方自治法第244条には、公の施設の設置目的として「住民の福祉を増進する」と規定されている。

(公の施設) 第244条 普通地方公共団体は、住民の福祉を増進する目的をもつてその利用に供するための施設(これを公の施設という。)を設けるものとする。

② 千葉県日本コンベンションセンター国際展示場設置管理条例第2条にも、「本県の産業の振興及び文化の発展を図るとともに、本県の国際化に資する」と明記されている。

第二条 県は、技術、情報、文化等の国際交流を促進する国際見本市その他の催しの場を提供することにより、本県の産業の振興及び文化の発展を図るとともに、本県の国際化に資するため、日本コンベンションセンター国際展示場(以下「国際展示場」という。)を千葉市美浜区中瀬二丁目一番に設置する。

③ 1994年10月に千葉県議会が決議した「非核平和千葉県宣言」の「戦争という手段によらずに紛争を解決する道を追求する」と記している。

非核平和千葉県宣言

戦争のない平和な社会の建設は、千葉県民すべての願いであり、世界の人々の共通の悲願である。我が国は、世界唯一の核被爆国として、平和を希求する国民世論の同意のもとに、非核三原則を国是として、世界の恒久平和を目指している。しかしながら、今日なお、地球上には核兵器が厳然として存在し、また、民族・宗教・経済的利害の対立などにより、世界の各地で武力の行使が行われ、戦争の惨禍により人々が苦しんでいる。私たちは、恒久平和という人類共通の理想を達成するため、国際社会の理性を信頼し全世界の協力により、戦争という手段によらずに紛争を解決する道を追求するものである。 よって、千葉県議会は、人間愛と郷土愛に基づき、千葉県民と共に核兵器の廃絶と世界の恒久平和という悲願をこめて、「非核平和千葉県」の宣言を行う。